

第1回かぜくも教室を 開催しました。



6月27日(水)に「サポートブックを作ろう」のテーマで第一回かぜくも教室が行われました。サポートブックの意義や活用方法、将来の場面で必要になることなどを、本校の曾川教諭がお伝えしました。その後、実際にサポートブックをお母さん方のお話を伺いながら一緒に書き込み、初めてのサポートブック作りにむけてのお手伝いをしました。少人数でしたが、サポートブックを作りながらお母さん同士で情報交換もでき、お茶を飲みながら和やかな時間を過ごすことができました。



お母さんがお子さんの一番の理解者です。心を込めて作成したサポートブックがお子さんの支援につながります。



☆☆参加者の感想を紹介します☆☆

自分ではわからない事がわかり、とてもためになりました。
また参加させてください。ありがとうございました。

先生に詳しく教えてもらい、サポートブックを詳しく記入する大事さがわかりました。書き方だけではなく、専門的なことをアドバイスしてもらい、とても助かりました。

第2回かぜくも教室を 開催しました。



8月30日（水）に第2回かぜくも教室を開催しました。今回は、「子どものいいところを見つけよう」というテーマで、本校の教育支援アドバイザーの鈴木貞安先生が講義を行いました。子どもの行動への対応や、ほめるときのポイントなど、具体的な例を挙げてお伝えしました。子育てに関して困っていることや悩んでいることなども話題にあがり、助言や情報提供も行われました。



☆☆参加者の感想を紹介します☆☆

日常の中で見直すことが多く、自分にゆとりをもって対応していかなければと思いました。結果を問うのではなく、前の段階でほめていくことを心掛けていきたいです。

子どもへの接し方など、これからのヒントになりました。

勉強になりました。ペアレントプログラムに大変興味があります。

第4回かぜくも教室を 開催しました。



12月14日（金）に今年度最後のかぜくも教室が行われました。第4回は、本校教諭の古川英樹先生に「ことばを育てる」をテーマにお話していただきました。就学前のお子さんのお母さん方10名の参加がありました。一緒に遊ぶことや生活の中で、子どもが「ことばを話すことは楽しい」と思えることの大切さを再確認させられる講義でした。講義終了後、本校高等部の実習報告会を見学しました。



☆☆参加者の感想を紹介します☆☆

ことばは「楽しいもの」というイメージがないと「話したい」と思わないということが、大人の私にとっては新しい発見でした。

普段の生活の中でもことばを育てるためのきっかけが沢山あるんだなぁと感じました。「子どもが楽しいと親も楽しい」という気持ちを忘れないようにします。

あせらなくて良いのだと思えて救われました。私自身が周りの目や意見を気にしすぎないようにしたいと思います。

とても楽しく参加できました。今までの考え方がガラッと変わりました。子どもとの関係、もっともっと考えたいです。

子どもといろんな体験をしてことばを育てていきたいと思います。

語順を変えると印象が変わるというのは気を付けたいと思いました。